



松木昭治さん
(萩尾機械工業株式会社)

長年クレーン設備の製造に携わり、機械加工の腕を奮ってきた。退職後は同社で若手への指導を行っている。

技術が進化し、NC加工機械によりボタン一つで品物が出来上がるようになった。便利だが、昔ながらの汎用機械にも捨てがたい利点がある。刃物一つとっても、それぞれの加工に適した刃物や研ぎ方があり、それに対応できる。「若い人にその良さを知ってもらいたい」と目を輝かせる。



津乗正典さん
(永豊機械株式会社)

大型産業機械のユニット部品の組み立て業務を請け負う同社で、整備指導に当たっている。

機械仕上げの調整は千分の一ミリの世界。丁寧な仕事ぶりで国内外数多くの案件を手掛けた。豊富な知識と経験を武器に営業として全国を走り回ったことも。

現在は若手を教育。基礎や考え方を学ぶにはもってこいだという技能検定の受検を勧めている。「そろそろ引退して奥さん孝行をしたい」と照れながら笑った。

物をつくり 人をつくる

— 新居浜ものづくりマイスター —

産業振興課 ☎ 65-1260
FAX 65-1305



市のものづくり産業を支える卓越した技能や技術を持った人を「新居浜ものづくりマイスター」として認定しています。ものづくりマイスターは、地域の優れた技能の継承と人材育成のために尽力しています。

今回は、令和2年度に認定された4人を紹介。今年度は11月30日(火)まで、ものづくりマイスター候補者の推薦を募集しています。詳細は、新居浜ものづくりマイスターHPをご確認ください。



HPはこちら

電気保全グループのグループリーダーを務める。工場ラインの停止につながるトラブルは客先の製造ロスにもなる。経験を生かし、即座に復旧できたときには、やってきて良かったと感じるという。

年々高齢化が進む社内。技術継承には働きやすい環境づくりが欠かせない。「いい職場づくり」のために今日も汗を流す。趣味はソフトボール。子どもたちを全国大会出場に導いたこともある名コーチだ。

需要が高まっているテイクアウト用の袋を製造する課のトップとして管理業務を行う。安全第一の操業はもちろん、品質やコストなどにも目を配らせる。

技術指導者としてインドネシアに赴任し、信頼関係を築く大切さを実感。今は工場のメンバーとゴルフで親睦を深めている。一昔前とは違い、根性や努力を求めるだけでなく、指導側の工夫も必要だという。「今後は部署を回せるように後輩を育てたい」と語った。



淵上薫さん
(西国電気工業株式会社)



石川貴浩さん
(新居浜補助株式会社)